



発行・京都障害者スポーツ振興会
題字 芝田 徳造

障害のある子どもの

スポーツ教室

今年で四年目を迎えた「障害のある子どものスポーツ教室」は、スポーツ・身体活動とおして、楽しく身体を使っておぼこと同時に運動の技術も向上させ、ルールを理解し人との関係を豊かにするスポーツの体験を増やすことが大切であると考え開催されています。今年は16人が参加されました。

主催 (一社)京都障害者スポーツ振興会

後援 京都市教育委員会
日時 平成29年7月31日
(月)

場所 京都市立深草小学校
種目

- ・50m走
- ・ソフトボール投げ
- ・卓球
- ・卓球バレー
- ・フライングディスク

「スポーツ教室」

いとうはるき

(砂川小学校一年)

はるきくんは、すぼーつきょうしつでたいいくかんにいきました。

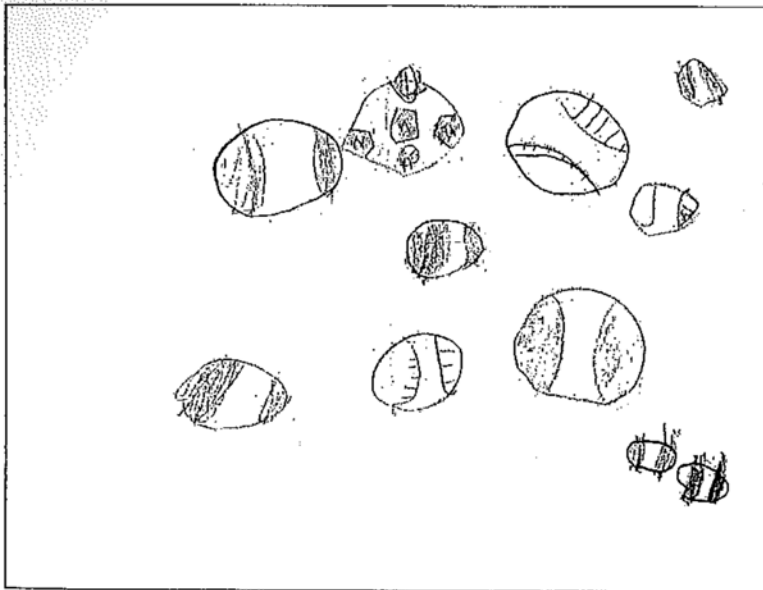
50m走、ソフトボール投げ、卓球バレーをしました。フライングディスクダンスとそしてフライングディスクアキュラシーはまるいまといれてほしいこうしました。

「すぼーつをして」

こまい まみ

(砂川小学校一年)

わたしは50メートルとるそうをはしりました。がんばりました。そふとぼーるをなげました。たのしかったです。またしたいです。



行事予定	9月	12(火)	丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園	来月のつどいは 10 / 8 第2日曜日
		17(日)	障害者水泳のつどい	伏見港公園	
		24(日)	城陽障害者スポーツのつどい 第37回全京都障害者総合スポーツ大会アーチェリー大会	サン・アビリティーズ城陽 南丹市日吉総合運動広場	
	10月	1(日)	第37回全京都障害者総合スポーツ大会 FD大会	丹波自然運動公園	
		7(土)	パラリンピックにチャレンジ(陸上競技)	太陽が丘陵上競技場	
京都障害者スポーツ振興会ホームページ http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/				TEL/FAX 075-712-7010 (2017年5月5日に一部更新)	

障害者スポーツのつどい
・車いす競技学習会に
参加して

学生ボランティア
滋賀大学教育学部3回生
羽藤佑輔

これまで3回、ボランティア
アスタフとして京都島津ア
リーナで行われた障害者スポ
ーツのつどいに参加させてい
だきました。きっかけは、偶然
にも家に置いてあったつどいの
チラシを見て、活動内容に興
味を持ったからです。実際に
参加してみると、つどいで出
会う参加者の方々が、自分の
ペースで参加されていることや
色々な種目の中から自分に
とって心地よい活動・居場所
を選ばれていること、年齢や
経験関係なく一緒に声をか
け合っていて体験されている
様子が非常に印象的で、
私もスタフとして活動する
ことにやりがいを感じていま
す。

つどいが行われる前には、
「スタフのスポーツを楽しむつ
どい」という時間があります。
7月からは「車いすスラローム」
に取り組んでいて、これは白と
赤のピンが置かれたコースを旗
門として前進や後進をして
走り、ゴールまでのタイムを競
うものです。7月には選手の方
々に指導していただいた

で貴重な体験になりました。
車いすに乗ること自体が2度
目でしたが、実際にスポーツ
を楽しむながら操作している
中で、上からや前から車いす
を見ていただけでは気がつかな
かった、車いすを使う人の側
の視点に多く出会えた実感
がありました。障害の有無に
関わらず楽しめるスポーツで
あることと、身体の一部のよ
うに車いすを使うことで新た
な発見があったことが、私に
とっては「車いすスラローム」の
魅力です。

個人的な話ですが、私は特
別支援学校の教員を志して
います。6月には某特別支援
学校で教育実習を行い、そこ
で子どもたちと関わる中で
「学校生活における休み時間
の過ごし方」に問題意識を持
ちました。休み時間に友だち
と遊ぶことを楽しみにして学
校へ通う子どもは多いので
すが、一方で遊びになかなか参
加することが難しい子どもも
いました。たしかに活動が指
定されていないので、使い方は
子どもたちに委ねられていま
すが、子どもたちの意思を尊
重した上で、教師がどのよう
な役割を果たせるか、あまり
検討されていないように感じ
ます。
余暇についても、あまり有
益な時間ではないのでは…と

イメージを持たれがちなよう
ですが、中身の伴った価値の
ある時間を過ごす権利が保
障されなければならぬと、
私は強く思います。放課後に
なれば近所で子どもたちが楽
しそうに体を動かして遊ぶ姿
を見かける一方で、家の窓か
らその様子をそっと覗いてい
るだけの、どこか憧れと寂しさ
が見受けられる、障害のある
子どもそんな姿を何度も目
にしてきました。私たちが含
め、ほっこりと和むことが出来
る居場所の中で、仲間と夢中
になれることが誰にとっても
必要ではないかと、そういつた
ことも考えつつこれからはボラ
ンティアアスタフとして活動し
ていきたいです。

【投稿】

全国障害者スポーツ大会の
出場に向けて

京都市右京区 三輪廣子

人生の半ばを過ぎて障害
者になった者がこのような全
国大会に出場することになり
ました。

主人が七十歳を前に脳内
出血で左半身麻痺になり、
介護していた私は左膝が痛み

手術し人工膝になり、手術の
一年後には右股関節も人工
骨に、六十過ぎて障害者にな
りました。外科の医師から杖
を渡されましたが、杖を使っ
ていたら介護が出来ないので
杖は使用しませんでした。身
体障害者手帳を取得しまし
た。私は主人の介護をしな
がら、陸上競技の審判を続け
ていました。

昨年全京都障害者総合ス
ポーツ大会の陸上競技会に
砲丸投げで出場しました。陸
上競技は長く行ってました
が、投てき競技は初挑戦でし
た。私の人生初の全国大会出
場が、まだ大会に出場されて
いない方の励みになればと思
い頑張ってお場します。

パラリンピックに

チャレンジ

陸上競技・水泳

【目的】

スポーツ経験の浅い障害のあ
る児童・生徒に「私にもスポ
ーツができる」という気持ちを持
ってもらおうとともに、いろい
ろな競技会への参加を促す。

参加資格

京都府内の小学生・中学
生・高校、特別支援学校の在
校生で、障害者手帳(身体・
療育・精神)所持者。特別支
援学校在校生については手帳
の所持は問いません。

日時

陸上競技

平成29年10月7日(土)

水泳

平成29年10月15日(日)

カヌー試乗体験も行います

会場

陸上競技・京都府立太陽が
丘陸上競技場

水泳・京都府立伏見港公園
温水プール(京阪電車 中書
島駅下車)

参加申し込み・問い合わせは

京都市左京区高野玉岡町5
京都市障害者スポーツセン
ター内
京都障害者スポーツ振興会
電話・ファックス
075-712-7010